

元祖 モリモリ書店

第64話 R02.12.11(金)
「あなたにとっての青春はなんですか。」

★今回、紹介する本は、『ブックオフ大学ぶらぶら学部』（著/島田潤一郎、武田砂鉄、横須賀拓など、出版/夏葉社）です。
今回は、変化球で攻めます。

ひとりで出版社を起業し、ひとりで切り盛りをする島田潤一郎さん（『古くてあたらしい仕事』は以前紹介しましたが心に寄り添ってくれるすてきな本でした）が、自らの「ブックオフ」への愛を本にした1冊。

文筆家や書店員、ブックデザイナー、せどらー（安値で買った本を他の店で高値で売る人たち）など、それぞれブックオフに思い入れのある人たちが、その青春時代をユニークに語っています。

皆さんとは少し、青春の世代（時代？）が違うので完全に共感できない部分はあるかもしれませんが、一つのお店の姿からその時代の空気感がわかるというのがおもしろいし、今まで身近にあったこのお店を今までと違う見方で見られるのもすてき。笑って読みましょう。



あんまり本屋さんにきて、たいていブックオフ。

このお店の生手指数と見せかぶりよくわかり、自分にとってはどういう存在かを考えさせてくれます。本好きでない人も、店員かもしれない。ふいに、この本が、ふと、ふと、ふと。

時間は超えたものに
出合える場所 (p.30)

ほとんどの本好きに
戻れる場所 (p.38)

学びの場でもあり、
一つのカルチャーである (p.182)

あなたは好きですか？